

平成26年度第3回公共調達審査会活動状況報告書

沖縄労働局

1 開催日

平成26年12月17日(水)

2 委員の氏名及び役職等

委員長 大嶋 直樹(労働基準部長)

委員 國代 尚章(職業安定部長)

委員 松永 涼子(雇用均等室長)

3 審査対象期間

平成26年8月1日から平成26年11月30日まで

4 審査契約件数

(1) 公共工事

① 競争入札によるもの

・審査対象件数 1 件

・審議件数 1 件

うち、低入札価格調査の対象となったもの 0件

② 随意契約によるもの

・審査対象件数 0 件

・審議件数 0 件

(2) 物品・役務等

① 競争入札によるもの

・審査対象件数 6 件

・審議件数 6 件

うち、契約金額が500万円以上のもの 1件

うち、参加者が一者しかいないもの 0件

うち、委託契約金額に占める再委託金額の割合が2分の1を超えるもの
0 件

② 随意契約によるもの

・審査対象件数 2 件

・審議件数 2 件

うち、直近の随意契約見直し計画において一般競争入札等に移行することと
されていたが移行していないもの 0 件

うち、新規案件で競争性のない随意契約で調達しているもの 0 件

うち、企画競争又は公募をしたが、参加者(応募者)が一者しかいないもの
1 件

うち、委託契約金額に占める再委託金額の割合が2分の1を超えるもの
0 件

5 審議案件の抽出方法

沖縄労働局公共調達審査会運営要綱第7条に基づき抽出した。公共工事については競争入札によるもの1件あった。

物品・役務等については、契約金額が500万円以上のものは2件（競争入札によるもの1件、随意契約によるもの1件）で全てを審議案件とした。また、500万円未満の案件は、計7件（競争入札によるもの6件、随意契約によるもの1件）となり、9件（競争入札によるもの7件、随意契約によるもの2件）と少ないため、今回は全てを審議対象案件とした。

6 審議結果

不適切等と判断した件数 0件

結果内容及び措置状況

公共工事及び物品・役務等の契約に係る競争参加資格等の設定及び予定価格の設定等について、審議案件は適正であると認められた。

なお、以下の点を留意点として確認や指摘が行われた。

○競争入札による公共工事について

・ 通番1について

落札価格が他者の入札額に比べ、かなり低い価格となっているが

⇒ 各入札者の入札額の内訳を確認したところ、材料費（カーペット代金）に大きな差があったことから、落札者が大量の在庫を保有していたか、もしくは他者よりも安価な調達ルートを確保していたため、価格に差が出たと思われる。

入札参加資格の設定について、予定価格からは「D」等級となるが、結果として「C」等級の者が落札しているが、入札への影響は

⇒ 「D」等級の者のみだと参加者が見込めないため、等級の緩和を行った。結果として4社の入札参加があり、落札したのはC等級の企業となったが、ランクによる入札への問題はない。

○競争入札による物品役務について

・ 通番1について

落札価格が他者の入札額に比べ、かなり低い価格となっているが

⇒ 新規参入の企業のため、受注実績をつくりたいために、価格を落としたものと思われる。

○随意契約による公共工事について

審査該当事案無し

○随意契約による物品役務について

・ 特になし。